



流動食を胃袋に押し込むエア・ バッグの空気圧調整器に応用

電動空気ポンプの製作

藤岡 洋一 Yoichi Fujioka

を支援する介護者、施設も増加し、今後はこれらの方々を対象としたさまざまな機器が開発されてゆくものと思います。今回は身近な機器を応用して高齢者介護に役に立つ機器を作成してみました。

● 介護者の負担を軽減でき大好評

写真1が介護現場で使用中のようすです。短期間に作った空気ポンプですが、幸いなことに故障も無く、施設の介護者からは大変好評との報告をいただきました。

本装置を利用すれば、浮き輪や、風船、バスケット・ボール、サッカー・ボールなどの空気圧を適切に管理しつつ充填できます。

概要

● 介護施設にて困っているネタを提供いただいた

体力が弱り口から食事を取れない利用者(写真2)に対して、腹部に通したチューブから直接胃に流動食を流し込むために「PG加圧バッグ」(発売元：テルモ、製造販売：小林メディカル)という機器が使われています(写真3)。このバッグの横のポケットに流動食の



写真1 製作した電動空気ポンプを使用中の様子
介護者が加圧バッグに流動食バッグをセットし、加圧開始。介護福祉士さんの負担を軽減できた



写真2 加圧バッグを利用し流動食を腹部に注入